

免許状教科	高等学校1種(公民)			
科目名	公民科教育	科目分類	教職科目	
			経済学科	■必修 □選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	Lecture of Civic Education	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年	
ふりがな	いど まさみ	開講期間	□前期 □後期 □通年 ■集中	
担当者名	井門 正美	修得単位	4単位	
		実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用	
授業のテーマ	本講義では、公民科の教育内容と教育方法について理解すると共に、現代社会、政治経済、倫理の科目の中から1つを選択し、単元を決め指導案の作成と授業づくりを行う。その上で、模擬授業実践を行う。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公民科の目標及び教科内容を理解する。 2. 公民科の具体的実践事例をもとにして、教育方法と評価方法について理解する。 3. 公民科教育の問題状況を捉えた上で、役割体験学習論に基づく知識と行為の統一的な授業づくりと授業実践ができる。 			
授業概要	<p>この科目は、高等学校の公民科の教員免許を取得するための講義科目である。公民科の目標は、生徒に「公民としての資質」を育てることにある。こうした目標を達成するためには、教師は知識と行為の統一的な学習を組織しなければならない。特に、当科目では、まず、公民科の教科としての特色について概説し、次に、公民科の教育内容と教育方法、そして評価方法に関して考究する。その上で、知識と行為の統一的な学習による社会的実践力(生きる力)の育成を図る役割体験学習論に基づく公民科の授業づくりを行う。この授業づくりでは、指導案作成と模擬授業を行う。</p> <p>なお、本講義科目は、前期(8月下旬)と後期(2月中旬)とに分けて実施する。</p>			
授業計画				
第1回	オリエンテーション 講義計画と評価方法について 公民科の問題状況、公民科教育は公民的資質の育成をしているのか。	第17回	公民科授業づくり3-選定題材の教材化1	
第2回	学習指導要領解説社公民編を考察する「学習指導要領が求めているもの」	第18回	公民科授業づくり4-選定題材の教材化2	
第3回	公民的資質・社会的実践力を培うための「役割体験学習論」の提案-知識と行為の統一を図るアクティブラーニングの理論-	第19回	公民科授業づくり5-情報機器・教材を活用した教育方法の検討1	
第4回	公民科の授業紹介1-マンガを使った授業「ギャラリー・フェイク」-	第20回	公民科授業づくり6-情報機器・教材を活用した教育方法の検討2	
第5回	公民科の授業紹介2-現代社会の実践例「大津和子実践-一本のバナナから-」	第21回	公民科授業づくり7-本時の授業展開の策定-導入-	
第6回	公民科の授業紹介3-政治経済の実践例「貿易ゲーム」-	第22回	公民科授業づくり8-本時の授業展開の策定-展開-	
第7回	公民科の授業紹介4-倫理の実践例「『浩とブタ公』から」	第23回	公民科授業づくり9-本時の授業展開の策定-まとめ-	
第8回	役割体験学習論に基づく公民科の実践例1-現社「コモンズの悲劇」-	第24回	公民科模擬授業実践1-現代社会の模擬授業グループ	
第9回	役割体験学習論に基づく公民科の実践例2-政経「模擬裁判員裁判」-	第25回	公民科模擬授業実践2-倫理の模擬授業グループ	
第10回	役割体験学習論に基づく公民科の実践例3-倫理「青い目・茶色い目」-	第26回	公民科模擬授業実践3-政治経済の模擬授業グループ1	
第11回	紹介事例に見る公民科授業づくりのポイント	第27回	公民科模擬授業実践4-政治経済の模擬授業グループ	
第12回	公民科の指導案作成方法	第28回	公民科授業実践講評1-現代社会・倫理グループに対する講評-	
第13回	公民科授業づくりのポイント-教育内容と題材、教育方法、評価-	第29回	公民科授業実践講評2-政治経済グループに対する講評-	

第14回	公民科の授業を構想する一科目・単元・本時の授業—	第30回	総括 講義のまとめとレポートについて（講義の振り返りとレポートの形式等）
第15回	公民科授業づくり1—科目・単元・本時の授業を決定する	第31回	レポートによる評価
第16回	公民科授業づくり2—授業の題材探しと単元計画（本時の決定）	*受講者の人数により、講義内容や講義方法を変更する場合があります。	
授業時間外の学習	講義の前後におよそ90分間の事前事後学習が必要です。質問がある場合には、対面・オンライン等で、その質問に対応します。		
履修条件 受講のルール	教職課程を受講している学生		
テキスト	井門正美著『実践キャリアアップ教育』（NSK出版）*著者割引1500円前期集中初日に販売。		
参考文献・資料	文部科学省『高等学校学習指導要領』（平成30年改訂） 文部科学省『高等学校学習指導要領解説公民編』（平成30年発行予定）		
成績評価の方法	<p>① 提出物の評価 毎回授業についての「考察」を提出するので、この記述を評価する。</p> <p>② 個人作成の指導案及び授業スライドと模擬授業</p> <p>③ 個人レポート（指導案・授業スライド完成版、授業振り返りレポート）</p> <p>以上3つの総計を100点として採点し評価する。</p> <p>*出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができない。</p>		
オフィスアワー	授業終了後		
成績評価の基準	秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下）		
学生へのメッセージ	本講義は、役割体験学習論に基づくアクティブラーニングを重視しています。学生の皆さんが共に議論し、創造する協働的な学びを追究しますので、積極的に参加して下さい。		